

海を観光資源として人を呼び込むには どのように情報を発信すれば良いのか

I 序論

現状: 年々気仙沼を訪れる観光客が増えている。



仮説: ICTを利用し情報発信をすればさらに交流人口が増加するのではないか。

II 本論

課題: どのように情報発信をすれば、より多くの人に知ってもらえるか。

調査対象: 気仙沼高等学校全校生徒

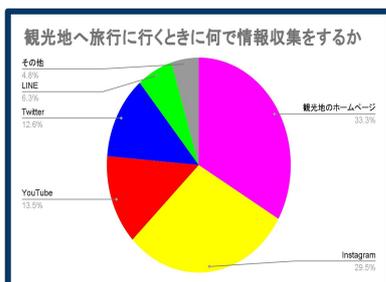
調査方法: 気仙沼の海や情報収集について、Classiを利用してアンケートをとった。

アンケートで質問したこと

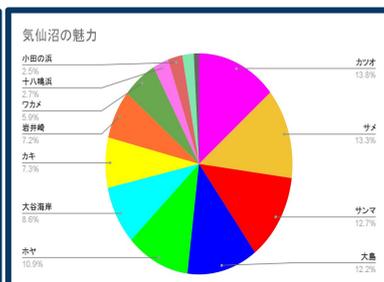
- ①観光地へ行くときどのように情報収集するか
- ②気仙沼の魅力とは
- ③着地型観光に参加したいかどうか

着地型観光: 観光客を受け入れる地域が、観光資源をもとにした旅行商品や体験プログラムを企画・運営すること

①の結果↓



②の結果↓



III まとめ

①情報収集の方法

多くの方は観光地のホームページ,またはInstagramから情報を得ている

②気仙沼の魅力

- ・カツオやワカメなどの魚介類
- ・海の景色を見ることができる海岸

③着地型観光の参加について

参加したくないと答えた人の方が多かった。

IV 結論

着地型観光を増やしていく

ex) 魚市場内のツアー案内

気仙沼に特に若い世代に来てもらう



SNSで気仙沼の観光を紹介

- 自然を体験できるアウトドアなもの
 - 気仙沼の特産物の手作り体験
- まずInstagramで情報発信

ホームページをより多く見ってもらう

SNS⇒気仙沼観光アカウントの作成

ex) 気仙沼さ来てけらいん

○新たな疑問

- ・Instagramでどのような情報を発信するのか
- ・気仙沼に適したアウトドアの体験活動は何かあるか
- ・どんなホームページにすれば閲覧者に興味を持ってもらえるのか

参考文献

令和2年観光統計概要(速報値)を掲載しました

- 宮城県HP

<https://www.pref.miyagi.jp>

ご協力いただいた方

K先生

(東北工業大学 ライフデザイン学部)

K様

(FWアドバイザー)

K様

(気仙沼地域戦略)